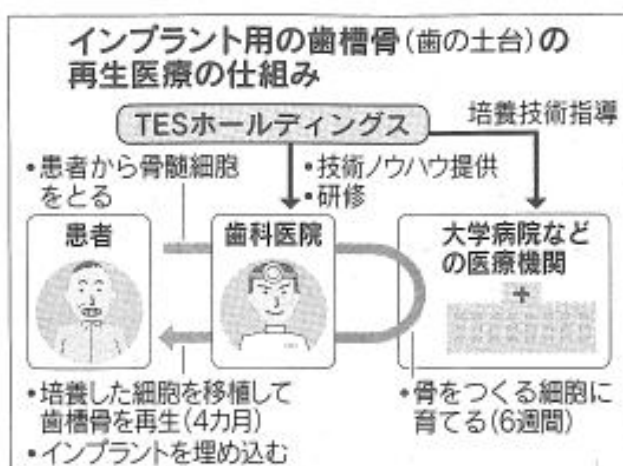


自分の細胞から歯の土台

再生医療、全国展開へ



TES 骨削る移植不要

バイオベンチャーのTESホールディングスのT(東京・文京、林明男社長)は10月から、歯の土台となる「歯槽骨」を患る再生医療の事業を本格展開する。歯周病などで傷んだ歯を再生させるインプラント(人口歯根)埋め込み治療に使う。東京大学医科学研究所との共同研究で安全・有効性を確認したのを受け、全国から提携先の歯科医院を募り、数年後に300、500カ所まで再生医療を実施する体制を整える。

歯周病などで歯が抜け、数年後に300、500カ所まで再生医療を実施する体制を整える。

歯槽骨が薄くなった人から歯槽骨をつくる細胞を培養する技術を確立。従来法に比べ、患者の体にかかる負担が軽く、歯槽骨の再生までにかかる時間も3分の1の4カ月程度になる。TESが協力する形で東大医科研は8月、付属病院内に再生医療を実施する診療科を開いた。TESは今後、同医療を手がける歯科医院を全国から募る。骨髄細胞を元に骨をつくる細胞を培養するため、全国10カ所程度の医療・研究機関とも提携していく。TESは10月以降、提携先の歯科医院と医療・研究機関に有料でノウハウを提供したり、研修を実施したりする見込み。

患者にとり歯槽骨の再生費用は歯3、4本で40万円程度になる見込み。別途、インプラント手術代がかかる。

TESは2002年の設立で、11年6月期の売上高は約3億円。化粧品・食品の臨床研究受託のほか、肌や骨の再生医療を手掛ける。新エネルギー・産業技術総合開発機構によると、再生医療を

から提携先の歯科医院を募り、数年後に300、500カ所まで再生医療を実施する体制を整える。

TESが協力する形で東大医科研は8月、付属病院内に再生医療を実施する診療科を開いた。TESは今後、同医療を手がける歯科医院を全国から募る。骨髄細胞を元に骨をつくる細胞を培養するため、全国10カ所程度の医療・研究機関とも提携していく。TESは10月以降、提携先の歯科医院と医療・研究機関に有料でノウハウを提供したり、研修を実施したりする見込み。

患者にとり歯槽骨の再生費用は歯3、4本で40万円程度になる見込み。別途、インプラント手術代がかかる。

TESは2002年の設立で、11年6月期の売上高は約3億円。化粧品・食品の臨床研究受託のほか、肌や骨の再生医療を手掛ける。新エネルギー・産業技術総合開発機構によると、再生医療を